

おはようございます。

今日9月1日は、防災の日です。今からちょうど100年前の今日、1923年9月1日に関東地方に大きな被害を与えた関東大震災が起きて10万人以上が犠牲になりました。東日本大震災の亡くなった人、行方不明の人の人数が約22000人だったことと比べても、大変な災害であったことがわかります。

その災害のことを忘れずに、災害が起きていざというときに、「自分の命は自分でしっかり守る」行動ができる心構えと準備をしようという日として、この9月1日が防災の日となりました。

今、緊急地震速報が流れたあと、すぐに机の下に潜って、頭と体を守る行動ができたでしょうか。いざというとき怖くて動けなかったという子がいないようにこうして、訓練をしていくことが大切です。

この後、学級ごとに校舎や体育館、校庭を歩いて、それぞれの場所にいるときに、地震が起こったらどのように自分の身を守るのか、それぞれの場所で地震が起きたときどんな危険があるのかを考えてみてください。また、今日は4年生が総合的な学習の時間に作った危険箇所マップが体育館、各階の廊下に掲示されているので、見て参考にしてください。

最後に、家に帰ってから、おうちの方と、地震が起きたときどうすれば良いのか、自分の家の準備はどうなっているのかなど、是非話してみてください。

以上で終わります。